



No.144

発行日：2025年5月8日

神奈川ネット 大和市民会議



市議 布瀬めぐみ



市議 吉田なな

学校給食がない 長期休暇中の食支援

3月の一般質問より

長期休暇中は学校給食がないことから、栄養バランスのいい食事をとることができなかつたり、孤食が増えていくことが課題です。

大和市議 吉田なな

長期休暇中の昼食は？

学校給食は栄養バランスのいい食事として子どもの健康を支えています。夏休みや冬休みなど長期休暇中は給食がないため、家庭での食生活が不安定になることも一定数いることが全国的にも報告されています。

長期休暇中に放課後児童クラブに通っていることも弁当を持参する必要があるため、就業している保護者の負担は通常より増加します。また深刻な例では、給食で補っていた十分な栄養がとれないため、長期休暇中に栄養失調になることもいることも新聞等で取り上げられています。

現状と課題は？

子ども食堂やフードパントリーなど地域の方の善意とボランティアで、子どもたちを支える支援が広がっています。大和市では、長期休暇中の昼食支援は、子ども食堂を紹介するにとどまっています。しかも、子ども食堂の予算はこの4月から削減されてしまいました。



大和市の子ども食堂は現在、週1回から月1回程度の開催に留まっています。長期休暇中だけでも子ども食堂の回数を増やすた

めには、補助金の増額やボランティアを増やすために広報するなど、市の支援が必要です。

ボランティア団体の善意に頼るだけでなく、市としてこの問題をどのように捉えるのか、どのように子どもの食を支えるのか、考えていかなければなりません。

昼食支援の方法は？

他の自治体では学校の給食センターや認定子ども園の給食施設で調理された昼食を放課後児童クラブに提供する例があります。給食センターや園の施設と連携し、長期休暇中の給食やお弁当を安価で提供できれば、栄養バランスが考えられた安心な昼食を子どもたちが食べることができ

ます。また、地域のお弁当事業者や飲食店で安価な価格でお弁当など提供するところに補助金を出すなど、市の支援体制を整えていくことも必要です。

子どもの成長は家庭だけでなく、地域や行政を巻き込み、みんなで支えていかなければなりません。食支援は子どもの成長に欠かせない重要な政策の一環であるとともに、これからの提案を続けていきます。

★3月議会では他に「市の施設の活用」について質問しました。

吉田ななの

一般質問はホームページでもご覧になれます。こちらのQRコードからお入りください。



2025年度当初予算案に反対

大和市議 布瀬めぐみ

3月の議会では2025年度大和市予算案が反対多数で否決されました。神奈川ネットは、予算案に反対、修正動議に賛成しました。

これまで、神奈川ネットはほとんどの予算案に賛成をしてきました。全

ての事業に賛成ではありませんが、課題と捉えていることに対しては討

論という形で意見・要望を述べて賛成してきました。なぜなら予算が否

決された状態だと4月からの予算執行ができず、市民生活に大きな影響

を及ぼしてしまうからです。今回の予算案で、こもりびと支援

の拡充として常設の居場所の設置や子ども家庭支援としてヤングケア

ラー支援の強化、ショートステイ事業の開始など、評価できる事業はあり

ました。しかし一方で、子ども食堂の補助金の減額や学校・公立保育園の給食食

材の放射能測定中止、小中学校の学級への新聞配架の中止や図書室

スパーバイザーの廃止、中学校の英語や数学の少人数指導の廃止など、

子どもに関わる事業の縮小が行われていました。

また、資源の個別回収に向けた取り組みとして、回収物の選別所の改修工事に

関わる設計費用が計上されていますが、今後の個別回収に向けての必要経費の試算等が議会に提示

されておらず、これは大きな問題と捉えています。

神奈川ネットが今回の予算案で一番問題視したのは、新規事業の「放

課後児童スポーツ活動」です。全児童対象の事業にもかかわらず、放課後児童クラブの事業とな

っていること、児童クラブの支援員不足などの課題に対する対策は行われていないこと、児童の安全対策に懸念があることが大きな理由です。

厚生常任委員会でも、複数の議員から様々な質問がされていますが、多くの課題への対策は不十分と考えざるを得ない状況でした。このまま予算案に賛成すれば「放課後児童スポーツ活動」は児童の安全確保が不明確なまま、全校で実施することを認めることとなります。

しかし、予算案に反対のみすることは、市民生活へ影響が大きいため、「放課後児童スポーツ活動」はモデル校を決めての試験的実施などの修正が盛り込まれた修正動議に賛成しました。

3月議会では、修正動議、予算案共に否決されたため、3月末に臨時議会が開催されました。臨時議会に再提出された予算案は、「放課後児童スポーツ活動」が北部・中部・南部の3校での試験的実施へと修正されるなど、4事業に対する修正がされていました。神奈川ネットは、修正された予算案には、意見を付けて賛成しました。

限りある予算だからこそ、中長期的な視点も交えながら、行政、議会、市民が大和市の将来像を共有化し、事業の優先順位も共に考えていく体制作りが必要です。削減ありきではなく、市民が真に必要な事業が実施されるよう、今後も市民の代弁者として提案し続けます。

